

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和３年４月１日～令和７年３月３１日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立浅野社会復帰センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目１６番３８号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ 無	ペナルティ制 有・ 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会		
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目１６番３８号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労移行支援（一般）、就労継続支援（Ｂ型））の管理運営		
指定期間		令和３年４月１日～令和８年３月３１日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		40	
(1) 施設の設置目的の達成		25	4	20	
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
【一般就労】 (単位：人)					
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
目標値	12	8	8	8	8
実績	5	6	5	8	8
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）					
①③・職場体験実習の実施や職場・生活環境のアセスメント、利用者の遂行能力や特性、得意不得意、配慮事項等を多角的に把握するように努め、支援の質を高めた結果、一般就労達成者数は高い目標を維持・達成している。事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。					
①・ハローワークや障害者職業センター、しごとサポートセンター等と連携を図るとともに、障害者合同就職説明会の参加やOB・OG職場見学会の実施のほか、企業見学や職場体験実習を希望者個人又はグループで行うなど、参加しやすい活動を提供し、就労への取り組みを強化している。					
・定期的な就労講座の開催（年45回）や個々のスキルトレーニング、グループ活動により利用者の自主性や協調性を伸ばす取り組みを行っている。一般就労後のOB・OG会は、情報交換の場として、雇用の継続に向けた支援にも取り組んでいる。					
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】 (単位：円)					
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
目標値	4,800	8,000	12,000	10,000	16,000
実績	12,948	10,050	8,257	16,883	16,324
・就労継続支援B型事業では、利用者が意欲的に参加できる生産活動（軽作業）により就労体験の提供、外出するきっかけとなる場所の提供を行っている。訓練内容としては、軽作業の種類の充実、施設外就労への参加を行い、工賃の向上や利用者の細かなニーズへの対応を行っている。また、企業からの作業を受託し、効率の向上					

のため作業工程の見直しを行い、新規施設内・外作業の開拓により工賃の維持、向上に努めている。

②・広報紙を毎月発行し、市内外の福祉施設、行政、病院及び配布を希望する方など、約240ヶ所に配布したほか、ホームページやSNS（インスタグラム）上で各事業の案内、広報誌を掲載するなど、広報活動に力を入れている。

・特別支援学校からの実習生の受け入れや障害者支援に積極的に取り組んでいる大学等への広報活動により、新規利用者の獲得に努めている。

(2) 利用者の満足度		25	4	20
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。				
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。				

【評価の理由、要因・原因分析】

施設の総合評価

【満足度】

(単位：%)

年 度	【参考】R2年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
目標値	87.0	85.0	85.0	85.0	85.0
実績(就労継続)	84.2	83.5	92.0	86.5	89.7
実績(就労移行)	90.7	85.7	96.3	93.5	100.0

①・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、94.9%（就労継続89.7%、就労移行100.0%）となっており、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。

②③・利用者からの意見や苦情に対して適切に対応していくため、意見箱を設置し、毎月1回の定例利用者ミーティングより出た意見に対して適切に対応し、より良い運営への取り組みを行っている。

⑤・季節行事による余暇活動（いちご狩り、クリスマス会、ぜんざい会等）の充実や他事業所との交流を兼ねたスポーツ活動への参加など、利用者の生活の質の向上に努めている。また、月2回、バドミントン、卓球、ソフトバレーボール等の軽運動を行うことにより、利用者の健康増進はもとより、自然な形でコミュニケーションを図る場の提供に努めている。

・定期的に家族教室を開催し、利用者や家族に対して障害者就労を取り巻く実体験の共有を図り、就労への安心感を得られるように努めている。

⑥・個別の要望や疑問・相談事については、支援員との個別面談を通して把握し、緊急

を要する内容については、電話連絡や自宅訪問等を行い適切に対応している。					
2 効率性の向上等に関する取組み		1 5		9	
(1) 経費の低減等		1 5	3	9	
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。					
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。					
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
①・光熱費を中心とした経費節減への取り組みについては、令和6年度に電力会社を変更することで電気料金を年間約27万円削減したことに加え、省エネルギー型の印刷機への交換する等、コスト削減に向けて意欲的に取り組んでいる。					
【光熱水費】 (単位：千円)					
年 度	【参考】R2年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
予 算	594	556	830	1,024	799
決 算	555	599	786	976	775
(2) 収入の増加		—	—	—	
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。					
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み		3 5		2 1	
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況		1 5	3	9	
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。					
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。					
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。					
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。					
[評価の理由、要因・原因分析]					
①・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。					
②・精神障害福祉分野、就労支援等の研修への参加や、個人情報保護研修、接遇研修及び虐待防止研修等を実施し、職員の資質向上を図っている。					
③・町内会と協働して、小倉駅近辺の街美化清掃活動（毎月1回）や浅野町緑地公園、					

ミクニワールドスタジアム周辺の歩道清掃を行うなど、地域貢献に取り組んでいる。 ・職場実習として、大学や専門学校等から116名を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。				
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など		20	3	12
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。				
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。				
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。				
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。				
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]				
①②・法人の規則に則り、利用者の個人情報保護、人権尊重及び身体拘束等への取り組みにより、適切な運営に努めている。				
⑤⑥⑦・危機管理体制を整えており、ヒヤリハット意見箱の設置などにより、利用者の安全、衛生管理・事故防止に対する意識向上に取り組んでいる。				
⑥・能登半島地震や日向灘沖地震の発生を受け、大津波を想定した施設外の避難訓練（第1避難場所：小倉駅、第2避難場所：あるあるCity）の実施のほか、施設内での防災訓練を年3回実施し、非常時の体制整備に努めている。				
・不審者対応マニュアルの整備や警察署と協力した不審者対策訓練の実施等により、安全確保や意識向上に努めている。				

【総合評価】

合計得点	70	評価ランク	B
【評価の理由】 ・事業計画に沿って、通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたきめ細かいサービス提供に努めるとともに、利用者の満足度も非常に高く、障害福祉サービス事業所の管理運営者として高く評価できる。 ・特に、職場体験実習の実施や職場・生活環境のアセスメント、利用者の遂行能力や特性、得意不得意、配慮事項等を多角的に把握するように努め、支援の質を高めた結果、一般就労達成者数は高い目標を維持・達成している点は高く評価できる。 ・ハローワークや障害者職業センター、しごとサポートセンター等と連携を図るとともに、障害者合同就職説明会の参加やOB・OG職場見学会の実施のほか、企業見学や職場体			

験実習を希望者個人又はグループで行うなど、参加しやすい活動を提供し、就労への取り組みを強化している。

- ・就労継続支援B型事業では、利用者が意欲的に参加できる生産活動（軽作業）により就労体験の提供、外出するきっかけとなる場所の提供を行っている。訓練内容としては、軽作業の種類の充実、施設外就労への参加を行い、工賃の向上や利用者の細かなニーズへの対応を行っている。
- ・特別支援学校からの実習生の受け入れや障害者支援に積極的に取り組んでいる大学等への広報活動により、新規利用者の獲得に努めている。
- ・季節行事による余暇活動の充実や他事業所との交流を兼ねたスポーツ活動への参加など、利用者の生活の質の向上に努めている。また、バドミントン、卓球、ソフトバレーボール等の軽運動を行うことにより、利用者の健康増進はもとより、自然な形でコミュニケーションを図る場の提供に努めている。
- ・能登半島地震や日向灘沖地震の発生を受け、大津波を想定した施設外の避難訓練（第1避難場所：小倉駅、第2避難場所：あるあるCity）の実施のほか、施設内での防災訓練を年3回実施し、非常時の体制整備に努めている。

〔北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見〕

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

A：総合評価の結果、優れていると認められる
（合計得点が80点以上）

B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
（合計得点が70点以上80点未満）

- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)